

犬協の活動趣旨について

1月27日
犬協

ゴール裏をもっと良いものにするために、なにか方法はないか

サポーター団体の皆様、普段の応援では大変お世話になっております。
しかしながら現在、個人サポーターを巻き込んでの応援が効果的にできていない場合があります。

理由

- コールリーダー間の応援のタイミング統一などの問題
- サポーター団体の個人サポーターへのアプローチ(06 最終戦はかなり効果的だった)
- 個人サポーター側の、情報不足による問題
 - サポコミに出てみたが、連絡事項が少して終了してしまった
 - そもそも声出していいのか？自分たちで勝手に声だしちゃまずいのか？
 - 誰に合わせればいいのか？
 - サポーター団体の人っていったいどんな人達？などなど

犬協は、3番目の「個人サポーターの情報不足による問題」を少しでも解決したい、と考えます。
現在サポーターがクラブに壁を感じているように、個人サポがサポーター団体に対して、やや壁を感じている状態のように思います(犬協サイトなどに寄せられた意見による)。
それを解決する方法として、より効果的なサポーターズミーティングの開催、を提案しております。

現状のサポーターズミーティングの問題

- 試合直前で時間的なゆとりがない→業務連絡のみの場になってしまっている
- 試合直前で心理的なゆとりもなくテンションが上がっていて冷静な話し合いがしづらい
- 物理的な問題(場所や、声が届かないなど)で、発言者の意図が伝わりにくい

上記問題は、場所と時間さえ確保できれば、ある程度解決できるものではないか、と考えます。

最初は、現状のサポミをそのまま会議室に持ち込んでやってみるような形になると思いますが、

- 余裕があったら質疑応答の時間を増やしてみる
- 個人サポからの質問(意外とみんなサポーター団体のことを知らない)を聞いてみる
- 逆に個人サポーターへの要望を各団体から提案

など、単純に個人サポの疑問解消だけでなく、よりよい応援に向けての全体的な向上の場にすることが可能です。それが、さしあたって犬協の提案する「協議会」です。

他の活動としては、「サポーターをサポートする」の精神で、

- 個人サポーターへの情報提供(フライヤー作成)
- ゴール裏最上階からの応援企画、姉崎クリーン作戦など、個人サポが提案する企画のお手伝い

を少しでもできれば、と考えて活動しております。

全く何もないところからスタートした組織のため、各団体の皆様には昨年からお騒がせし、ご迷惑をお掛けいたしまして申し訳ございませんが、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。